

一般社団法人日本薬学教育学会
2023年度社員総会議事録

開催日時：2023年8月20日(日)10時40分～11時30分

会 場：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館）2階大会議室

【開会】

・議長挨拶

乾理事長より、定款第16条に基づき2023年度定時社員総会の議長を務めること、今年度は4年ぶりに対面形式で開催することが宣言された。

・成立宣言

総務・企画担当の中村副理事長より、2023年7月31日現在の議決権を有する社員（個人会員・機関会員）の総数は826名で、会議の出席者47名、委任状の事前提出者454名で、定款第18条第1項に定める定足数414名を超える501名の出席があり、社員総会が成立することが報告された。

・議長と議事録署名について

定款第16条に基づいて乾理事長が議長を務め、議事録の署名は乾理事長、亀井監事が行うこととした。

【議事】

(1) 2022年度事業報告（2022年7月1日～2023年6月30日）（承認事項）

総務・企画担当の中村副理事長より2022年度の事業内容が、資料に基づき、1)第7回総会および臨時社員総会の開催、2)理事会開催、3)第7回大会の開催、4)2021年度学会賞の表彰、5)2022年度学会賞の募集と選考、6)委員会・担当理事等の活動、7)学会誌「薬学教育」発行、8)会員登録状況（7月20日時点で、個人会員：759、学生会員：74、機関会員：67、賛助会員：8、計908件）について報告が行われた。2022年度事業報告は賛成多数で承認された。

(2) 2022年度決算報告および監査報告（承認事項）

財務担当の有田理事より2022年度の決算報告として、資料に基づいて、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録および公認会計士による監査報告書の説明が行われた。また、亀井監事より資料に基づき監査結果が報告された。2022年度決算について諮った結果、賛成多数で承認された。

(3) 2023年度事業計画の件（報告事項）

総務・企画担当の中村副理事長より2023年度（2023年7月1日～2024年6月30日）の事業計画（案）として、資料に基づき、1)社員総会および理事会開催、2)第8回大会、3)2022年度学会賞の表彰、4)2023年度学会賞の募集と選考、5)理事候補者および監事候補者の選任、6)委員会・担当理事等の活動、7)「日本薬系学会連合」入会と活動への参画、8)学会誌「薬学教育」発行、9)講演会・研究会等の開催について説明された。

(5) 2023年度収支予算の件（報告事項）

財務担当の有田理事より 2023 年度予算として、資料に基づいて、2023 年度収支予算書（案）の説明が行われた。

(6) 役員選任細則改正について（報告事項）

総務・企画担当の中村副理事長より、資料に基づいて、役員選任細則の主な改正点（新理事長候補者・新副理事長候補者選定会議の開催など）が説明された。

(7) 第 9 回・第 10 回大会について（承認事項）

2024 年度第 9 回大会の大会長として東京薬科大学薬学部長の袴田秀樹氏が理事会で選任されたことが報告され、賛成多数で承認された。三浦理事より第 9 回大会は 2024 年 8 月 17 日（土）・18 日（日）に「薬学教育におけるプロフェッショナルリズムとは？」をテーマとして、東京都八王子市の東京薬科大学を会場として開催することが紹介された。

また、大会の準備を早期から円滑に行うため、理事会で 2025 年度の第 10 回大会の開催校として帝京平成大学を選定したことが報告され、賛成多数で承認された。帝京平成大学の亀井薬学部長からは節目となる第 10 回の記念となるよう準備を進めていくことが報告された。

【閉会】

・閉会宣言

乾理事長より閉会の辞として、薬学教育の重要性が増す中で、本学会の活動に対して文部科学省と厚生労働省から期待が寄せられており、委員会・担当理事による活動を活性化すると共に、機関会員の増加に引き続き取り組んでいくこと、そして会員に対しては協力の依頼が述べられた。

出席理事（14 名）

乾 賢一、有田悦子、石川さと子、入江徹美、木内祐二、小佐野博史、鈴木 匡、高橋一栄、武田香陽子、中村明弘、長谷川洋一、平田收正、松浦正佳、三浦典子

出席監事（1 名）

亀井美和子

欠席理事（2 名：うち委任状提出 2 名）

山田成樹（委任状）

欠席監事（1 名）

林 正弘

（議事録文責：中村明弘）

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

令和 5 年 8 月 20 日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 亀井美和子